

## 令和3年度 第1回恵那市スポーツ推進審議会

日時：令和3年11月2日（火）

午後1時30分～

場所：恵那市消防防災センター

### 1. 会長あいさつ

### 2. 新任委員紹介

恵那市副教育長 西尾朋子委員

### 3. 会議の公開、公表について

### 4. 報告

報告1 東京2020オリンピック事前キャンプについて

報告2 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2021）の開催中止について

報告3 工藤俊介選手 東京2020パラリンピック競技大会テコンドー競技入賞について

報告4 中京学院大学卓球部による卓球教室の開催について

報告5 青戸慎司氏によるスポーツ講演会、かけっこ教室の開催について

### 5. 議題

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

### 6. その他

### 7. 閉会のあいさつ

令和3年度 恵那市スポーツ推進審議会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	役職	備考
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市	会長	会長
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎	副会長	教授
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳	委員	専任講師
4	岐阜県身体障害者福祉協会恵那市支部	鷲 見 辰 星	委員	支部長
5	恵那市地域自治区会長会議	瀬 瀬 佳 恭	委員	飯地地域自治区会長
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄	委員	健康事業推進部長
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作	委員	会長
8	恵那市医療福祉部	加 藤 真 治	委員	部長
9	恵那市小中学校校長会	丸 山 成 之	委員	岩邑中学校校長
10	恵那市こども園長会	永 治 寿 美	委員	みさとこども園長
11	恵那市教育委員会	西 尾 朋 子	委員	副教育長

【事務局】

1	教育委員会事務局長	長 谷 川 幸 洋	
2	医療福祉部 健幸推進課長	三 宅 千 春	
3	教育委員会事務局 スポーツ課長	服 藤 知 晃	
4	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	加 藤 友 美	
5	教育委員会事務局 スポーツ課係長	堀 康 仁	
6	教育委員会事務局 スポーツ課主任	池 戸 佳 奈	
7	(公財) 恵那市体育連盟 専務理事	三 浦 幸 慈	
8	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長	大 嶋 卯 巳	

## 報告1 東京2020オリンピック事前キャンプについて

7月18日（日曜日）から31日（土曜日）に実施されたポーランド共和国カヌーチームによる事前キャンプは天候にも恵まれ、順調な最終調整が行われた。

この間、多くの関係者のご理解とご協力を得て、ホストタウン事業を円滑に実施できたことに改めて感謝を申し上げます。

事前キャンプの成果は8月2日（月曜日）から7日（土曜日）に開催された大会結果に現れ、ポーランド共和国カヌーチームは銀、銅メダルを各1個ずつ獲得するなど、強豪国の力をいかに発揮した。

### 1. 事前キャンプの状況

#### (1) 到着時の出迎え

①日時 7月18日（日曜日）午後7時30分ごろ

②場所 かんぽの宿 恵那 玄関前

③内容

関係者、笠置町の住民等、約50人が選手の顔写真等を掲げるなどして拍手で出迎えた。市ホストタウン推進実行委員会の山本会長が「メダル獲得のため、最大限サポートします。」と歓迎した。



#### (2) オンライン歓迎会

①日時 7月19日（月曜日）午後2時30分から

②場所 市役所・かんぽの宿 恵那、恵那北中学校、市内5小中学校

③内容

関係者が選手らに歓迎の気持ちを伝えると、チームリーダーは「コロナの影響で地元の人と関われないのは残念。笠置峡は、とても穏やかできれいな場所。気に入っています。」と話した。また、恵那北中学校生徒が選手に質問するなどの交流を行った。



#### (3) 近隣学校の練習見学

①日時 7月20日（火曜日）午前10時30分から

②場所 笠置峡ボート・カヌー場下流

### ③内容

恵那北中学校と恵那北小学校の児童生徒が練習を見学し、うちわや横断幕を持って選手を応援した。声援に気付いた選手が、コースから離れて児童らに手を振る場面もあり、「体が大きくてかっこよかった」「すごく速くてびっくりした」などの感想が聞かれた。



### (4) 公開練習

①日時 7月24日(土曜日) 午前9時30分から11時30分まで  
午後3時30分から5時30分まで

②場所 笠置峡ボート・カヌー場下流

### ③内容

事前に申し込みをした市民など約400人が見学し、密集を避けるため、50人ずつ、30分ごとの入れ替えで行った。見学した市民からは「勢いよく漕ぐ姿が格好良かった。一度カヌーに乗ってみたい」などの感想が聞かれた。



### (5) 昼食提供に伴うオンライン交流会

①日時 7月28日(水曜日) 午後0時30分

②場所 笠置コミュニティセンター・かんぽの宿恵那

### ③内容

笠置町のふれあいハーモニー、かさぎゆず組合のメンバーが、地域の味を昼食として提供し、選手らとオンラインで交流した。五平バーガー、たこ焼き、ゆず菓子などを提供し、選手からは「とてもおいしい」との声が上がった。

別の日には、飯地町は若福が朴葉寿司と弁当を、中野方町は不動滝やさいの会が地域の野菜たっぷりの弁当を提供した。



### (6) オンライン壮行会

①日時 7月30日(金曜日) 午後2時30分から

②場所 市役所、かんぽの宿 恵那

### ③内容

コーチは「恵那の皆さんが力を与えてく

れたことに感謝します。本番で 100 パーセントの力が出せるよう準備したので、良い結果が出ると信じています。」とお礼の言葉を述べられた。また、市内滞在中の様子を動画にして放映した他、中山太鼓保存会による太鼓の演奏、小中学校からの応援メッセージも放映した。



(7) 出発時の見送り

- ①日時 7月31日(土曜日)午後0時30分から
- ②場所 かんぽの宿 恵那玄関前
- ③内容

選手村に向かう選手らを、関係者、笠置町の住民等、約 150 人で見送りました。恵那西中学校ブラスバンド部の生徒が演奏を披露すると、選手には笑顔が広がり、コーチが「全てのことがよく準備されていた。本当にありがとうございました。私たちは家族同然です。また会いましょう」と感謝された。



2. 東京オリンピック 2020 カヌー (スプリント) 競技結果

(1) 女子カヤックペア 500m 銀メダル獲得 (8月3日)

- ・カロリナ・ナヤ選手
- ・アンナ・プワフスカ選手



(2) 女子カヤックシングル 200m 4位入賞 (8月3日)

・マルタ・バルチキエビッチ選手



(3) 男子カナディアンペア 1000m 7位入賞 (8月3日)

・ビクトル・グワズノフ選手  
・トマシュ・バルニャク選手



(4) 女子カナディアンシングル 200m 4位入賞 (8月5日)

・ドロータ・ボロウスカ選手



(5) 女子カヤックフォア 500m 銅メダル獲得 (8月7日)

・カロリナ・ナヤ選手  
・アンナ・プアフスカ選手  
・ユスティナ・イスクシツカ選手  
・ヘレナ・ビシニエフスカ選手



### 3. 新聞記事掲載

7月19日	中日新聞	「恵那に五輪カヌー・ポーランド代表 オハヨウゴザイマス」
	岐阜新聞	「五輪選手ようこそ カヌー・ポーランド代表、恵那入り」
7月20日	中日新聞	「カヌー・ポーランド代表 恵那にようこそ」
	岐阜新聞	「ポーランド代表と恵那の小中生交流」
	読売新聞	「市民とオンライン交流」
	朝日新聞	「ポーランドから恵那にようこそ」
7月21日	中日新聞	「頑張れ ポーランド代表 カヌー 恵那の児童ら練習見学」
	岐阜新聞	「ポーランド代表 頑張れ」 「勝利信じ「金」の貯金箱」
7月25日	中日新聞	「五輪カヌー・ポーランド 恵那で練習公開」
	岐阜新聞	「カヌー・ポーランド声援受け市民に笑顔」
7月29日	中日新聞	「手作り昼食差し入れ ポーランド選手団おいしい」
	岐阜新聞	「ポーランドカヌー選手「昼食おいしい」オンラインで交流」
	読売新聞	「ポーランド代表に昼食 カヌー恵那市民、特産品ふるまう」
7月31日	岐阜新聞	「頑張れポーランド選手 オンラインでカヌー五輪チーム壮行会」
8月1日	中日新聞	「レスリング米国、カヌー・ポーランド合宿終え首都圏へ」
	岐阜新聞	「ポーランドチーム、恵那市出発」
	読売新聞	「各国選手に市民ら別れ」

### 4. ニュース

7月8日	中京テレビ	「カヌー強豪国ポーランド 東京五輪・事前キャンプに笠置峡へ 現地は歓迎ムードも感染対策を徹底 岐阜・恵那市」
7月18日	メ〜テレ	「ポーランドのカヌーチームが五輪事前キャンプ地・岐阜県恵那市に到着 市民らがショパンのピアノ曲で出迎え」
7月20日	中京テレビ	「カヌー強豪国ポーランド代表をお迎え 料理に館内表示の更新・・・7年越しのおもてなしは一岐阜・恵那市」

- 7月24日 メ〜テレ 「ポーランドのカヌーチームが練習を公開 岐阜県  
恵那市で東京五輪の事前キャンプ」
- 7月25日 ぎふチャン 「東京五輪ポーランドのカヌーチームとカナダの陸  
上チーム 岐阜県内で練習公開」

## 報告 2 第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2021） の開催中止について

令和 3 年 10 月 30 日（土）～11 月 2 日（火）岐阜県内全 42 市町村で開催予定であった、第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2021）は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、主催者である岐阜県、厚生労働省、一般財団法人長寿社会開発センターが協議した結果、令和 3 年 9 月 2 日中止が決定された。

一方、岐阜県は令和 7 年度開催に向けた検討を行っており、市町村、競技団体へ次期開催意向調査を実施し、同意が得られれば国へ開催申請を行う予定である。

## 報告3 工藤俊介選手 東京2020パラリンピック競技大会テコンドー競技 入賞について

恵那市出身の工藤俊介選手が東京2020パラリンピック競技大会テコンドー競技に出場し、7位に入賞しました。

市ではその栄誉をたたえ、恵那市体育功労賞を授与しました。

### 広報えな10月号掲載記事

## お疲れさま！ 東京2020パラリンピック競技大会

入賞  
おめでとう

9月21日、パラリンピックのテコンドー競技に出場した工藤俊介選手（武並町出身）が、市役所へ結果報告に訪れました。

工藤選手は初戦で、世界選手権銀メダリストのロシア選手と対戦し、惜しくも敗戦。しかし敗者復活戦で健闘し、7位に入賞しました。



#### パラリンピックを終えた感想

パラリンピックは、やはり特別な舞台でした。今までの他の大会とは、エネルギー量が違うと感じました。その舞台で戦えたことは、今後の自分の財産になります。

#### 試合を振り返って

メダル獲得を目指していたので、結果はとても悔しいです。ただ、初戦のロシア選手には、今回初めて「自分のやりたいことが通用した」という手応えを感じました。このまま技術を磨いていけば、いつか勝てるという自信にもつながりました。

#### 今後に向けて

次のパラリンピック（パリ大会）を目指し、練習を再開しています。今回の経験を生かして、今度こそメダルを持ち帰りたいです。恵那の皆さんの応援がとても励みになりました。今後への激励と受け止めて、がんばります。

#### 体育功労賞を授与



市では、工藤選手の活躍を称え、市体育功労賞を贈りました。

工藤選手からは、日本代表選手団の公式ユニフォーム（開会式用スーツなど）寄贈の申し出がありました。詳しい内容は、次号以降にお知らせします。

## 報告 4 中京学院大学卓球部による卓球教室の開催について

選手強化事業として中京学院大学と連携し、令和3年10月16日(土)恵那西中学校で卓球教室を開催した。

横谷淳中京学院大学卓球部監督と同大学女子卓球部員4人が講師となり、中学生38人を指導した。

令和3年10月27日(水)岐阜新聞掲載

恵那市体育連盟の卓球教室が同市長島町の恵那西中

### 卓球の基礎をみっちり

恵那市 中京院大生ら中学生に指導



卓球の基本を学ぶ生徒＝恵那市長島町、恵那西中学校

学校で開かれ、同校卓球部の11人と同市岩邑中学校卓球部の7人が技術向上に取り組んだ。

選手強化育成事業として実施。横谷淳中京学院大女子卓球部監督と同大女子卓球部員4人が講師を務めた。

卓球経験が2年未満の生徒が参加し、ウォーミングアップをした後にラケットの握り方や構え、スイングの基本を教わった。この後3、4人ずつに分かれて実践練習に取り組み、強烈なスマッシュを決めた。生徒は、自分の苦手の技術などを克服するため真剣な表情だった。

卓球歴1年半の恵那西中卓球部長の光岡亜望さん(13)は「友達に勧められ、やってみたら楽しくなったので入部した。今年は県大会に出場できたが、1回戦で負けてしまった。来年は全国大会出場が目標」と話した。

オリンピック交流会

# スポーツ講演会

陸上100m 元日本記録保持者

日本人男子初 夏冬五輪出場選手

1988年 ソウル五輪(陸上)

1992年 バルセロナ五輪(陸上)

1998年 長野五輪(ボブスレー)

## 青戸 慎司 氏



### 継続は力なり

—夏冬オリンピックを乗り越えて—

令和3年

# 12月11日(土)

9:10 受付開始  
9:40 恵那市体育連盟表  
彰式(功労者及び  
成績優秀者)  
10:00 スポーツ講演会

※スポーツ講演会に参加される方は9時10分から9時30分までにお集まりください。

場所 まきがね公園体育館

入 場 無 料

共 催 恵那市教育委員会 ・ (公財)恵那市体育連盟  
協 力 恵那市スポーツ推進委員連絡協議会





参加無料

元100m日本記録保持者から学ぶ

# かけっこ教室



今よりもっと速く走るコツ 教えます！

## 12月11日(土)

- 場 所 : まきがね公園体育館  
 時 間 : 13:00 から (受付 12:30 から)  
 定 員 : 小学生100名(先着順)  
 対 象 : 市内小学1年生 から 小学6年生  
 ※1年生から3年生は保護者の教室参加をお願いします。  
 持 ち 物 : 運動できる服装、屋内運動靴、飲料、タオル、マスク  
 申込方法 : 裏面の申込書を恵那市体育連盟(まきがね公園体育館)へ持参、  
 FAX(0573-25-7256)もしくはメール(tairen@tairen.enat.jp)にて  
 送付  
 申込期間 : 令和3年11月12日(金) 9時 から 12月5日(日)17時 まで  
 講 師 : 青戸 慎司氏(中京大学陸上競技部副部長)



講師 青戸慎司氏 プロフィール

陸上100mの元日本記録保持者。ソウル(1988年)、バルセロナ(1992年)両五輪に陸上短距離代表として出場し、バルセロナ五輪の400mリレーで第一走者を務め、60年ぶりに6位入賞を果たす。1998年にはその脚力を生かし、長野冬季五輪のボブスレー代表にも選ばれ、日本人男子初の夏冬五輪出場選手となった。指導者としては、東京2020オリンピック陸上4×400mリレーメンバーの川端魁人選手を育成した。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止させていただく場合があります。中止となる場合は参加者へ個別にご連絡いたします。  
 ※当日は自宅で検温をしてからご参加ください。

共 催 : 恵那市教育委員会 ・ (公財)恵那市体育連盟  
 協 力 : 恵那市スポーツ推進委員連絡協議会

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業進捗状況(令和3年10月25日現在)	今後の取り組み又は課題
1 健康づくり	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康増進を目的として、運動やスポーツを実施</li> <li>・ウォーキング等の手軽な運動(有酸素運動)が健康増進につながることは、広く認知されている。(87.8%)</li> <li>・意識的に普段から歩こうとしたり、今後ウォーキングに取り組みたいと考えている方が多い。(78.5%)</li> </ul> <p>●運動やスポーツの実施状況の低迷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、36.6%。国(53.6%:令和元年度)や県(47.7%令和元年度)より低い状況である。</li> <li>・運動やスポーツが思うようにできない理由としては、仕事(家事、育児)が忙しく時間がないという理由が最も多い。(31.6%)</li> <li>・働き世代の30歳代のスポーツ実施率が低い。</li> <li>・中高年の運動・スポーツ活動の推進、初心者向けのスポーツ教室の充実が求められている。また、高齢者や障がい者の方にとって、手軽な運動は交流や社会参加のきっかけとしても期待されている。</li> </ul> <p>●高齢化の進展や生活習慣病の増加が懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市は、全国や県と比較して高齢化率及び後期高齢化率が高い。</li> <li>・生活習慣病の受療率が県内他市と比較して高く、認知症や寝たきりなどの要介護者の増加、介護支援者の負担増加が懸念される。</li> </ul> <p>●新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた運動・スポーツの取り組みが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動スポーツの活動時のみではなく、普段の利用時においても感染防止を図る必要がある。</li> <li>・運動・スポーツを安全に行うには、一人ひとりの感染防止の意識と施設や競技ごとの感染防止対策の徹底が求められる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動やスポーツを始めるきっかけづくりが必要。</li> <li>◎ウォーキングなどの身近な運動に取り組む。</li> <li>◎自身のライフスタイルに合わせて運動・スポーツに親しむことが大切</li> <li>◎健康寿命の延伸を図る。</li> <li>◎障がいの有無に関わらず、全ての人が運動・スポーツに親しむことが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民一人ひとりが運動・スポーツに親しむことが重要。</li> <li>●運動・スポーツを始めるきっかけが多く、身近な場所で、自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができるまちを目指す。</li> <li>●年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人が健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。</li> </ul>	<p>●スポーツ実施率</p> <p>H26 R2 目標値(R7) 36.0% ⇒ 36.6% ⇒ 42.0%</p> <p>●積極値に歩いている人の割合</p> <p>H26 R2 目標値(R7) 21.1% ⇒ 24.3% ⇒ 33.0%</p> <p>●健康であると感じている人の割合</p> <p>H26 R2 目標値(R7) 77.9% ⇒ 77.1% ⇒ 82.0%</p> <p>●スポーツ実施者数</p> <p>R2 目標値(R7) 360,738人 ⇒ 363,000人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノルディックウォーク教室を5月から7月に開催した。3回 参加者:7名</li> <li>・プチ講習でのノルディックウォークや歩き方講座を開催した。4回 参加者:28名</li> <li>・地域のウォーキングマップの見直しを行い、市ウェブサイトに掲載し、周知を図った。</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢を従来の20歳以上から3歳以上と拡大を図り、子どもや親子で運動・スポーツをする動機付けをした。応募件数:255件 応募者:176名(9月30日現在) ※3歳以上20歳未満の応募件数:65件 応募者:57名</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを始めたい方、再開したい方をサポートするために、体育連盟窓口「スポーツ・運動なんでも相談窓口」を設置した。子どもにスポーツをさせたいなどの相談が多く、体育連盟加盟団体や市内のサークルを紹介した。相談件数 12件(9月30日現在)</li> <li>・年2回市内全戸配布する体育連盟広報誌において、種目団体や地区体育協会のコーナーを設けている。7月の発行誌では中学校体育連盟、テニス協会、バスケットボール協会 ソフトテニス連盟を紹介した。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アミックス、市ウェブサイトにて「マキガネクササイズ」を放送した。自宅で簡単に運動に取り組める運動動画として、一般向け、小中学生向け、幼児向けを提供した。</li> <li>・山岡健康増進センター及びまきがね公園体育館健康体力センターを利用して、健康教室を開催している。 「コトレチャレンジ」4月～8月 49名参加 「筋力アップ教室」コロナの影響により中止 「男前健康教室」コロナの影響により中止</li> <li>・プチ講習の実施(毎週金曜日) 1回30分の筋トレ、ストレッチボールなどのトレーニング講習を開催している。23回開催 延べ165名参加</li> <li>・まきがね健康運動教室の実施(毎週木曜日) 日頃から実施歩数計にて測定を行うとともに毎月体力測定を行い、効果を確認しながら継続的にトレーニングを行う教室を開催している。 19回開催 延べ108名参加</li> </ul> </li> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・壮健クラブにて軽スポーツや体力測定を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</li> </ul> </li> <li>○障がいの者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に障がいを持つ方を対象としたワンバウンドドッジボールを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</li> <li>・10月に計画していた身体障害者東濃ブロック体育大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・オクトーバー・ラン&amp;ウォークの実施(10月) コロナ禍の市民の健康づくりに向けて、スマホアプリを活用したランニング・ウォーキングイベントを開催中である。市民限定で特製キャップをプレゼントする。 参加状況(10月25日時点) ランニングの部 34名 ウォーキングの部 208名 計242名</li> <li>・市内で開催されるウォーキング大会を市民メール等で紹介する。</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>〈課題〉</li> <li>・令和2年度の応募者数は208名で、対象者の1%にも満たない。</li> <li>・アプリを活用した電子スタンプラリーやQRコードを読み込みスタンプを取得するなど、簡単なルールにし、参加者の増加を図る工夫が必要である。</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体の会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRすることを検討する。</li> <li>・引き続き12月の体育連盟広報誌で競技種目団体や地区体育協会の取り組みを紹介する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・新たに運動動画を撮影し、アミックスにて放送予定。</li> <li>・体育連盟の広報誌にて自宅でできる健康運動の紹介や各種教室の紹介を実施する。</li> <li>・「男前健康教室」を11月より開催する。</li> </ul> </li> <li>〈課題〉</li> <li>・各種教室において、新規参加者を増加させる取り組みが必要である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・壮健クラブにてペタンク大会を11月に実施予定。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限を行い、応援者や来賓無しで実施する。</li> </ul> </li> <li>○障がいの者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・2月に恵那スケート場でカーリングボ-リング交流会を実施する。</li> </ul> </li> </ul>

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業進捗状況(令和3年10月25日現在)	今後の取り組み又は課題
2 子どもの 健全 育成	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツをする人は、子どもの頃から運動をしている</li> <li>・運動やスポーツをすることは好きな人の割合は、子どもから大人に成長するにつれて減少傾向にある。</li> <li>・子どもの頃に運動が好きだった人は、大人になっても運動やスポーツが好きである傾向がある。</li> </ul> <p>●青少年の心身の健全育成が求められている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族とのコミュニケーション不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域での人間関係の希薄化、地域活動への関心の薄れなどが問題である。</li> <li>・保護者の生活習慣と子どもの生活習慣は密接に関連している。保護者の生活習慣を見直し、子どもの健全な育成・発達をささえていくことが必要。</li> </ul> <p>●子どもたちの遊び場の環境変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン・家庭用ゲーム機の普及や安全性の観点などから、屋外で遊ぶ子どもの姿が少なくなっている。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎乳幼児期から身体を動かす楽しさを知ることが大切。</li> <li>◎運動やスポーツを楽しみながら続けられる環境が必要。</li> <li>◎運動・スポーツを通じて、身体だけでなく心の成長を促すことが大切。</li> <li>◎子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが運動・スポーツを心から楽しむことが重要。</li> <li>●乳幼児期から親子で身体を動かし、身体を動かす楽しさを体感することができるまちを目指す。</li> <li>●子どもたちが豊かな自然の中や多様な人間関係の中で、運動・スポーツを通じて人と人とのつながりや思いやりをも体感することができるまちを目指す。</li> </ul>	<p>●運動・スポーツが好きなこどもの割合</p> <p><b>【小学生】</b></p> <p>H26 R2 目標値(R7) 62.7% ⇒ 66.5% ⇒ 75.0%</p> <p><b>【中学生】</b></p> <p>H26 R2 目標値(R7) 52.0% ⇒ 54.9% ⇒ 63.0%</p> <p>●子どものスポーツ実施率</p> <p><b>【小学生】</b></p> <p>H26 R2 目標値(R7) 62.5% ⇒ 68.2% ⇒ 79.0%</p> <p><b>【中学生】</b></p> <p>H26 R2 目標値(R7) 76.8% ⇒ 80.9% ⇒ 90.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめての一步」プロジェクト</li> <li>・こども園運動プログラムでは、こども園園児の体力測定を5～6月に実施した。 参加者:737名</li> <li>・こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象にした運動遊び行事を毎月実施し、乳幼児期に体を動かす楽しさを感じてもらう工夫をしている。また、体を動かすふれあい遊びの動画を作成し、市ウェブサイトやYouTubeで配信した。 5月 ふれあい遊び 参加者 親子5組15名 6月 バランスボール 参加者 親子16組35名 7月 夏祭り 参加者 親子20組42名 7月～8月 水遊び 9月 閉館につき動画配信</li> <li>・こども園年長対象のキッズサッカー教室開催した。 4回 参加者:80名</li> </ul> <p><b>【その他の子どもの健全育成施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施</li> <li>・恵那市スポーツ少年団野球交流会を5月にまきがね公園にて実施した。 参加者 約200名</li> <li>・東濃地区スポーツ少年団野球交流会を9月にまきがね公園にて実施した。 参加者 約450名(東濃5市から)</li> <li>・市内小中学生を対象とした、カヌー体験教室を6月と9月に計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめての一步」プロジェクト</li> <li>＜取り組み＞</li> <li>・こども園運動プログラムでは、10～11月にこども園運動遊び交流会及び親子で運動遊びのつどいを実施する。</li> <li>・こども元気プラザでは、乳幼児を対象とした運動遊びを実施する。10月は親子で楽器を使ったリトミック、家でできる元気な身体づくりを実施する。</li> <li>＜課題＞</li> <li>・こども園運動プログラムでは、子どもの体力向上の検証方法を検討する。</li> </ul> <p><b>【その他の子どもの健全育成施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室を実施する。</li> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月11日に元100m走日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施し、全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図る。</li> <li>・1月又は2月にパラリンピックテコンドー競技日本代表の工藤俊介選手によるテコンドー教室を実施予定。</li> <li>・2月中旬に恵那市スポーツ少年団新規団員獲得事業を開催予定。</li> </ul>

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業進捗状況(令和3年10月25日現在)	今後の取り組み又は課題
3 ・ コ ミ ユ ニ テ ィ づ く り	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツを通じた地域交流に期待 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた、仲間・友人づくり、生きがいづくり、地域の絆を深めるコミュニティの活性化を期待している。</li> <li>・「年齢に関係なく」「地域と交流したい」という理由で、子どもから大人まで一緒になって運動・スポーツをする機会があれば参加したいという意見が多い。(23.8%)</li> <li>・子どもたちの多くが、地域の友だちや大人と一緒に運動やスポーツをしたいと考えている。(小学生:53.3% 中学生:73.7%)</li> </ul> </li> <li>●地域における運動・スポーツの担い手が求められている <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ活動の担う人材・団体として、(公財)恵那市体育連盟、恵那市スポーツ推進委員、恵那市地域スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、地区体育協会などがある。</li> <li>・地区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが企画・運営するイベントへの参加者数は減少傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●ライフスタイルの変化に伴い地域のつながりが希薄化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの都市化が進み、地域のイベントや行事に参加する人が減少している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域にける運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティの核となる組織や場所などの資源を活用することが重要。</li> <li>●指導者や大会ボランティアなど様々な立場から「ささえる」人を増やし、ささえる人同士のコミュニティづくりが重要</li> <li>●各地域で活動しているスポーツ推進組織に活力があり、コミュニティセンターや学校開放施設などを拠点として、運動・スポーツを通じて地域の交流や絆が生まれるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世代を超えたスポーツ機会への参加意向 H26 R2 目標値(R7) 29.2% ⇒ 23.8% ⇒ 30.0%</li> <li>●総合型地域スポーツクラブ主催イベント参加者数 H26 R2 目標値(R7) 12,699人 ⇒ 14,667人 ⇒ 17,000人</li> <li>●イベントボランティア数 R2 R7 1,055人 ⇒ 1,100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・運動なんでも相談窓口を設置4月からスポーツを始めたい方、再開したい方をサポートするために体育連盟に窓口を設けた。 相談件数 12件(9月30日現在)</li> <li>・スポーツ教室 1人1スポーツのきっかけづくりとするため、初心者を対象とした弓道・テニス・卓球・バドミントン、水泳教室を予定していたが、水泳教室以外は新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止した。 水泳教室 45名参加 スケート場にてインラインスケート、ノルディックウォーク教室及びバスケットボール3X3大会を開催した。 ノルディックウォーク教室 3回 7名参加 インラインスケート教室 3回 79名参加 バスケットボール3×3大会 1回 38名参加</li> <li>・市民体育大会の開催 10月末までに16種目を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により5種目中止、6種目延期、5種目を実施した。 弓道 8月22日実施 軟式野球 10月3日実施 クレー射撃 10月10日実施 ゲートボール 10月14日実施 アーチェリー 10月17日実施</li> </ul> </li> <li>●「ささえる」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に開催した冬季国体の国体応援隊登録者に対して募集を実施した。 ささえるボランティア登録者数 42名、1団体</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他コミュニティづくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 総合型地域スポーツクラブの会員数 えなイースト 348名 あけちクラブ 133名 福寿の里 50名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・各地区体育協会でイベントを開催する。 主なイベント 10月 体力テスト(岩村町体育協会) ウォーキング大会(三郷町体育協会) 11月 ウォーキング教室(大井町スポーツ協会) 12月 ボーリング大会(飯地町体育協会)</li> <li>・体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体での会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRすることを検討する。</li> <li>・スポーツ推進委員連絡協議会では、ボッチャ等の軽スポーツを体験し、地域への普及を図る。</li> </ul> </li> <li>〈課題〉</li> <li>・地区体協の事業及び市民体育大会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、運営スタッフ、参加者の確保が課題である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ささえる」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>〈取り組み〉</li> <li>・ささえるボランティアに対し、12月に開催するモータースポーツイベント「WOMEN'Sラリー」のボランティア募集の案内を行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他コミュニティづくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 〈課題〉</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される。</li> <li>・コロナ禍という理由で練習日当日に人数がそろわず活動ができない時がある。</li> <li>・教室の発表会が予定どおり出来ず、退会する子がいる。</li> </ul>

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業進捗状況(令和3年10月25日現在)	今後の取り組み又は課題
4 観光交流	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光まちづくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市には、恵那峡や奥矢作湖、中山道、岩村城址と街並み、日本大正村などの観光地を抱える都市である。</li> <li>・観光資源を活用し、交流人口を拡大させ、地域のにぎわいの創出、消費の拡大、雇用の場の確保など、地域の活性化に取り組んでいる。</li> </ul> </li> <li>●スポーツと融合できる観光資源 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾川でのポート・カヌー体験、笠置山でのボルタリング、明知鉄道とタイアップしたウォーキングイベントなど観光資源を活用したイベントが行うことができる。</li> <li>・着地型体験コンテンツを目的として恵那市に訪れる交流人口が増加傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●スポーツツーリズムが注目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅でスポーツを楽しむといった、スポーツと観光を融合し、新しい価値・感動の提供をめざす「スポーツツーリズムが全国的に活発している。</li> <li>・恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーには、毎年多くの参加者がある。特に市外からの参加者が多い。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>◎観光資源と運動・スポーツの融合を図り、運動・スポーツを通じて交流・活力・にぎわいを生み出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然や文化が織りなす豊富な観光資源を、いかに運動・スポーツと融合させるかが重要。</li> <li>●自然や文化を生かしたスポーツ交流が数多く生まれ、運動・スポーツや観光を目的として多くの人が訪れ、活気やにぎわいに満ちたまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ交流人口数 R2 目標値(R7) 13,425人 ⇒ 26,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・まきがね公園、山岡・明智B&amp;G等のスポーツ施設で、スポーツ合宿を受け入れた。 18件 412名</li> <li>・令和3年度 恵那市スポーツ合宿助成金交付実績 7件 304名 延べ宿泊数 548日</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケート場で遊んだ後、恵那市を観光してもらうため「どこいくマップ」を作成し、配布を開始した。</li> <li>・ジバスクラム恵那が8月1日からインターネットサイト「アエルサイト」を開設し、カヌー体験や宿泊施設などの情報発信を開始した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【その他観光交流施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京2020オリンピック事前キャンプの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠置峡ポート・カヌー場でポーランドカヌーチームが事前キャンプを行い、笠置峡ポート・カヌー場を発信した。 ポーランドカヌーチーム事前キャンプ 7月18日～31日 選手団21名</li> </ul> </li> <li>○ マラソン大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、恵那峡ハーフマラソン及び大正村クロスカントリーを延期した。</li> </ul> </li> <li>○ ねんりんピック岐阜2021の開催について <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市では、10月30日マレットゴルフ大会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、岐阜大会自体が中止となった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那との連携により、民間旅行事業者による大学や実業団へのプロモーション活動を強化を図る。</li> <li>・スポーツ合宿助成交付金(1泊1,000円、上限20万円)を継続して実施する。 市内のスポーツ合宿受入可能な宿泊施設や競技場や体育館などの情報発信をウェブサイトやSNSを活用して強化を図る。</li> <li>・中長期的には、給食や送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者に対し支援を図る。</li> <li>・スポーツ合宿を通じて、関係人口を増加させるため、市民と大学や実業団が交流するスポーツ教室などの機会の開催に繋げる。</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那による市内事業者と域外事業者の引き合わせ、コラボレーションによる事業実施に取り組む。</li> <li>・地域資源を活かしたONSENガストロノミーウォーキングやサイクリングによる観光誘客に取り組む予定である。 ＜課題＞</li> <li>・森林アクティビティや水辺アクティビティなど、地域資源を活かした着地型体験コンテンツを磨き上げ、常設型のコンテンツや旅行商品とする取り組みが必要である。</li> <li>・令和2年度から、事業者や旅行会社がアクティビティを造成する際に必要な経費の一部を補助する。着地型観光創出支援事業補助金(補助率1/2、上限10万円)を創設したが利用者が少ない。 利用実績 1件</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【その他観光交流施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京2020オリンピック事前キャンプの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・オリンピックレガシーである笠置峡ポート・カヌー場の利活用の検討を進める。</li> </ul> </li> <li>○ マラソン大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・オンラインによるリモート大会として実施し、次回大会に繋げるとともに恵那市のPRを図る。</li> </ul> </li> <li>○ ねんりんピック岐阜2021の開催について <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・岐阜県は令和7年度開催に向けて検討を行っている。</li> </ul> </li> </ul>

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業進捗状況(令和3年10月25日現在)	今後の取り組み又は課題
5 ・ 競 技 力 向 上	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●競技スポーツへの関心高まり <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月、9年ぶりの国体スピードスケート競技が開催され、市民のスポーツに対する関心が高まった。</li> <li>・令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、人々のスポーツに対する関心は今後も高まる。</li> </ul> </li> <li>●子どもたちは、スポーツへの意欲・やる気がある <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、「スポーツが上手になりたい」「試合に勝ちたい」「よい記録・結果を出したい」という意欲・やる気がある。</li> <li>・世界を舞台に若いアスリートが多く活躍している。年齢を感じさせない彼らの活躍や努力を惜しまぬ姿勢は、子どもたちの憧れ・目標である。</li> </ul> </li> <li>●(公財)恵那市体育連盟のスポーツ指導者の登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)恵那市体育連盟は、市民の体力向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、スポーツの普及振興を推進している。</li> <li>・同連盟には、種目別、地域別に多くのスポーツ指導者が登録されており、子どもから大人まで、地域のスポーツ力の向上を支援する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者を育成する。</li> <li>◎子どもたちの意欲・やる気を伸ばす。</li> <li>◎トップアスリートを育て、支えていく仕組みを築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「上達したい」という意欲・やる気を大事にして、感動や興奮を与えてくれる競技スポーツ・トップアスリートとのふれあえる機会が多く、質の高い技術指導が受けられることができ、地域全体でアスリートを支える体制の整ったまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの「上達したい」意欲・やる気 <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学生】</li> <li>H26 R2 目標値(R7)</li> <li>52.0% ⇒ 42.7% ⇒ 52.0%</li> <li>【中学生】</li> <li>H26 R2 目標値(R7)</li> <li>50.2% ⇒ 40.2% ⇒ 51.0%</li> </ul> </li> <li>●国際大会出場選手 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 R2 目標値(R7)</li> <li>0人 ⇒ 1人 ⇒ 3人</li> </ul> </li> <li>●競技人口 <ul style="list-style-type: none"> <li>R2 目標値(R7)</li> <li>4,200人 ⇒ 4,200人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者・ボランティア名簿を体育連盟ウェブサイトに掲載し、活躍する場を提供している。</li> <li>登録者数 81名</li> <li>※スポーツ指導者:59名 ボランティア:22名</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導の初歩を学べる「恵那市スポーツ指導者養成講習会」を開催し、指導者資格として認定を行っている。</li> <li>・スポーツ指導者に対し、各種講演会、講習会などの案内を送付し、指導者として知識・技術の習得の場を提供した。</li> <li>・指導者バンク登録者の各種資格取得の支援を実施している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロスポーツ観戦機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・FC岐阜のホームタウンイベントで、地域のクラブチームの見学イベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</li> </ul> </li> <li>○ スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドクラス、全日本クラスの選手3名(岐阜県枠雇用2名、恵那市枠1名)を職員として雇用し、恵那市体育連盟所属選手として1月開催の栃木冬季国体等大会に出場する。</li> <li>・9月までの夏季シーズンのトレーニングの様子を体育連盟広報誌で紹介した。</li> <li>・強化選手である高田衛選手と石川将之選手が10月23日開催の全日本スピードスケート距離別選手権に出場した。高田衛選手は、1000m4位でワールドカップスピードスケート競技会日本代表に選出された。</li> </ul> </li> <li>○ トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月のポーランドカヌーチームの事前キャンプにおいて、世界トップレベルの選手と交流する機会を創出し、競技スポーツに対する意識向上を図った。</li> <li>7月19日市内小中学校6校とのリモート交流会を実施した。</li> <li>7月21日近隣小中学校の練習見学を実施した。</li> <li>参加者:148人</li> <li>7月24日公開練習を実施 参加者:400人</li> <li>・8月13日の東京2020パラリンピック聖火フェスティバルでは、東京2020パラリンピックテコンドー競技日本代表の工藤俊介選手からのメッセージを会場及びケーブルテレビにて配信し、競技スポーツに対する意識向上を図った。</li> <li>・地元スケート選手の夏合宿にて、スピードスケート強化選手による直接指導を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</li> </ul> </li> <li>○ 大学との連携によるスポーツ指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月16日に中京学院大学運動部との連携事業として、中京学院大学卓球部による卓球教室を、中学生を対象として開催した。</li> <li>参加者:38人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜課題＞</li> <li>・若い年代の指導者が少ない。</li> <li>・指導者を地元以外の地域から派遣することが難しい。</li> <li>・指導者と指導を求める側の条件のミスマッチがある。</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月11日に元100m走日本記録保持者である青戸慎司氏による指導者向けの講演会を実施する。</li> <li>・「恵那市スポーツ指導者養成講習会」を2月に開催する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロスポーツなどの観戦機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月17日から19日まで恵那スケート場で開催する全日本選抜スピードスケート大会に出場する、スピードスケート強化選手の活躍する姿を市民に見てもらい競技スポーツに関する関心を高める。</li> <li>・12月27日から30日に開催される、北京冬季オリンピックスピードスケート出場選考会の様子を、恵那スケート場でパブリックビューイングにて放映する。</li> </ul> </li> <li>○ スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・全日本選抜スピードスケート競技会、栃木冬季国体では、同大会に出場する強化選手と地元出場選手が交流や技術指導を受けることにより、地元選手の競技力向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○ トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月11日元100m走日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施する。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図る。</li> <li>・1月又は2月にパラリンピックテコンドー競技日本代表の工藤俊介選手によるテコンドー教室を実施予定。</li> <li>・地元スケート選手を対象に、スピードスケート強化選手によるオンラインでの指導を検討する。</li> </ul> </li> <li>○ 大学との連携によるスポーツ指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・今後も中京学院大学運動部との連携を強化し、様々なスポーツ教室を開催する。</li> </ul> </li> </ul>